

府市大統合に関するアンケートの結果

わたしたち学生自治会は6月に学生のみなさんを対象として「府市大統合に関するアンケート」を実施しました。ここではアンケートの設問および各設問に対するみなさんからの回答・意見や、アンケートの結果を踏まえた学生自治会の方針を掲載します。なお、設問に対する回答は原則として原文のまま掲載しています。

《各設問》

設問Ⅰ. あなたは府市大統合についてどのように考えていますか？

設問Ⅱ. よろしければその理由をお教えてください。

設問Ⅲ. あなたは次の事柄について知っていますか？

i. 2015年12月22日の大阪府議会の議決

※「統合に向けて準備を始める」という第2期中期目標および「関係者の様々な意見を柔軟に取り入れること」という付帯決議

ii. 大阪の公立大学のこれからの考える会による府市大統合の白紙撤回を求める署名

iii. 副首都推進本部会議における府市大統合についての具体的検討の開始

設問Ⅳ. Ⅲで知っているとお答えの方にお尋ねします。

以上の事柄をどこで知りましたか？(複数回答可)

設問Ⅴ. 府市大統合の結果、学生生活にどのような影響があると思いますか？

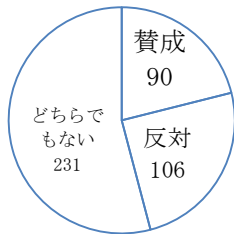
設問Ⅵ. 大学に対して望むことがあればお書きください。

設問Ⅶ. その他、意見があればお書きください。

《設問Ⅰ～Ⅲに対するみなさんからの回答》

設問Ⅰ

有効回答者数 427



設問Ⅱ(一例)

● 賛成の方の理由

- ・2つの大学が統合することで大学の規模が大きくなり、より大きな研究等ができるようになるから
- ・学生が増えることで多くの意見や視点が増え、より良い快適な大学生活を期待できるため

● 反対の方の理由

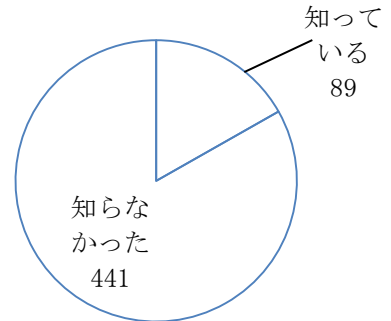
- ・未だ具体的にどのような形で統合するのか、学生への影響はどうか大きく周知されていない現状では、賛同することはできません
- ・同じように見える学問分野でも、市大ならではの学び、府大ならではの学びがあるはずであり、その学びがこれからの学生が学べないのはおかしいと思うから

● どちらでもない方の理由

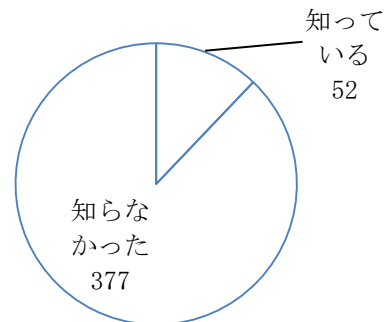
- ・私たちの学生生活が統合によってどのように変化するか不透明であることと、本当に2022年に統合できるのかあやしいと思ったから
- ・自分たちが在学中には何も関係ないから

設問Ⅲ

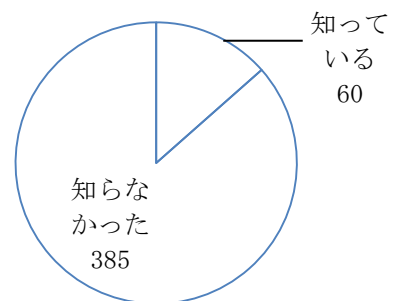
i. 有効回答者数 530



ii. 有効回答者数 429



iii. 有効回答者数 445



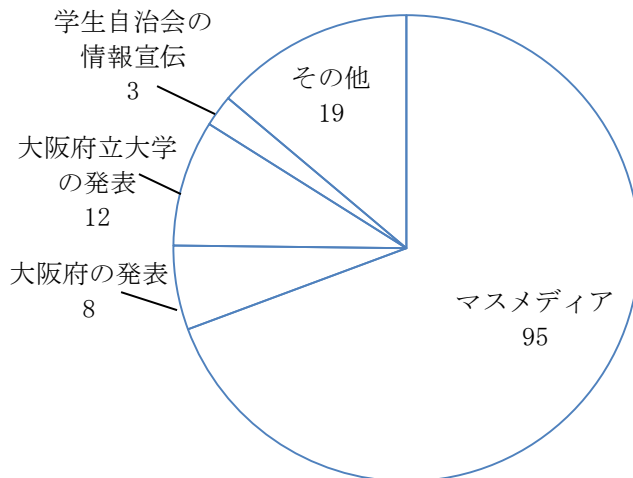
・設問Ⅰ～Ⅲの結果を踏まえた学生自治会の方針

設問Ⅰ～Ⅲの結果より、大学側から学生に対し十分な情報提供が行われていない可能性があるとして学生自治会は考えました。そこで学生自治会はこの結果を踏まえ、アンケート結果を大学に提出し、府市大統合に関する説明会を開催するよう大学に求めます。

《設問Ⅳ～Ⅵに対するみなさんからの回答》

設問Ⅳ

有効回答者数 124



設問Ⅴ(一例)

- ・予算が多くなり、より高度な実験が行える
- ・交流する人の数が増える
- ・特に影響があるとは思われない
- ・下宿生の通学に支障が出る
- ・学部などが統合されるようなことによって、いまのように授業や施設が受けられない、利用できないこと

設問Ⅵ(一例)

- ・統合についての議会の進捗状況、反対意見、賛成意見等の情報を積極的に開示してほしい。
- ・市大との交流を持つ
- ・統合しないでほしい。
- ・それぞれの大学の伝統を大切にしてほしい。
- ・学業に集中して取り組めるような環境を維持してほしい

・設問Ⅳの結果を踏まえた学生自治会の方針

設問Ⅳの結果より、学生自治会の情報宣伝が不十分であると考えました。そこで学生自治会は情報宣伝の強化を検討します。

・設問Ⅴ,Ⅵの結果を踏まえた学生自治会の方針

設問Ⅴ,Ⅵの結果より、学生のみなさんが府市大統合に対しさまざまな期待や不安を抱いていることがわかりました。そこで学生自治会は府市大統合において学生の意見が反映されるようにこれらの意見を大学に伝えます。

《設問Ⅶに対するみなさんからの回答》

設問Ⅶ(一例)

- ・自治体は自治体自身の負担が軽くなるというだけをプラスとして強調しすぎているように思う。もう少し学生自身の負担についても検討してほしい。
- ・24時間開館している図書館の設置
施設環境を国立(東大はムリとしても京大や阪大)に劣らない(むしろ勝るような)ものにして欲しい。
社会に対して統合された大学の立ち位置は示してほしい。

・設問Ⅶを踏まえた学生自治会の方針

設問Ⅶでは大学や学生自治会などに対し、様々な意見が寄せられました。学生自治会は学生の意見が大学の運営や学生自治会の活動に反映されることが望ましいと考えました。そこで学生自治会は設問Ⅶに対するみなさんからの回答の中で、大学などに対するものは必要に応じて関係各所に伝え、学生自治会に対するものは今後の活動の参考にします。

アンケートのご協力ありがとうございました。